

**武蔵野市第五期長期計画・調整計画  
無作為抽出市民ワークショップⅣ 実施報告【速報版】**

1 ワークショップの概要

平成 28 年度を初年度とする第五期長期計画・調整計画策定に向けて、平成 27 年 9 月に公表した計画案について、多くの市民の方から意見を伺うために無作為抽出市民ワークショップを開催した。市内に住民登録がある方のうち、無作為に抽出した 1,500 人と、平成 27 年 3 月に実施したワークショップⅢの参加者約 122 人に案内を送付し、その中で参加に承諾した方を対象に行った。若い世代の参加が少ないことが前回までのワークショップの課題であったため、抽出にあたり、1,500 名のうち 500 名を 18～24 歳の条件付きで抽出、残りの 1,000 名を 18 歳以上とした。

話合いのテーマを計画案の中の 6 つの重点取り組みとし、5～6 人のグループに分かれ、意見交換を行った。偏りが起こらないよう、グループ毎の話し合うテーマについてはくじ引きで決定した。意見出しの際には「行政がやるべきこと」と「市民ができること」という 2 つの視点をもって話し合ってもらい、グループの意見をまとめて発表した。

最後は、参加者各々が発表された意見の中で共感できるものに投票を行い、参加者から多く共感を得られた意見ベスト 3 を紹介した。

2 開催日時及び場所

平成 27 年 10 月 11 日（日）午後 1 時から 5 時まで  
市役所 811 会議室

3 参加者数

87 人（うち前回（ワークショップⅢ）参加者 38 名）

4 参加者から多く共感を得た意見（参加者一人につき、3 票。「行政がやるべきこと」「市民ができること」それぞれで最も共感できる意見に投票。残りの 1 票は行政、市民の枠を問わず投票。

【 】内の数字は得票数）

<行政がやるべきこと>

1 位 【22】「～情報の垂れ流しでなく、伝えたいターゲットに応じた媒体の活用を通じて、欲しい人の所へ情報を届ける～」

（重点取り組み 6：情報収集・提供機能の強化と連携より）

- ・市HPのMYページ化
- ・駅の電光掲示板の時間別利用
- ・ムーバス、病院にテレビをつけて 4 コマ漫画を流す
- ・若者へは、Twitter で細かく配信（写真・映像）

2位 【20】「公共施設の複合化・統廃合と効率的運用」

(重点取り組み3：公共施設ネットワークと都市基盤の再整備より)  
近隣の市・区との公共施設の統合・共同マネジメント  
公共施設の民間との共同利用や民間活用  
小中学校・大学の開放や有効活用  
駐輪場の更なる増設と走行レーン・区域の整備

3位 【18】「吉祥寺駅圏内の総合病院誘致」

(重点取り組み5：個性輝く三駅周辺のまちづくりの推進より)  
・吉祥寺には救急の病院が不足状態であるため総合病院の設置  
・地域に点在する各病院の連携機能を持たせる  
・現医療施設の買取も検討する

<市民ができること>

1位 【13】「コミセンの「プレイス」化」

(重点取り組み5：個性輝く三駅周辺のまちづくりの推進より)  
・20代～40代も利用しやすい環境づくり  
→税金を払っている年代が利用しづらい  
・三駅圏内、吉祥寺圏内のコミセンを特に活用  
→プレイスの利用圏外であるため

2位 【12】「子供へのボランティア活動」

(重点取り組み2：多様な主体による子育て支援施策の実現より)  
・勉強を教える  
・交通マナーを教える  
・ゴミ拾い  
・料理、手芸等を教える

3位 【11】「生ごみの減量」

(重点取り組み4：環境共生都市の創造に向けた新たな取り組みより)  
・各家庭、集合住宅へのコンポストの設置  
・積極的に肥料を受入れる→緑が増える  
・フリーマーケットの活用  
「現状を知ることから始めよう」

(※文字及び文章は発表用模造紙に記入されていた原文のまま表記)